日本協会だより

■平成6年度第1回評議員会

日　時　平成6年6月25日
場　所　東京体育館第二研修室
出席者　評議員22名
　日本協会　中澤専務理事、常務理事7名、松本、大野監事
会議成立確認　評議員定数52名
　出席22　欠席30（内委任状19）
　計41名にて会議は成立

▼議長及び議事録署名人の選出
　議長に中澤専務理事、議事録署名人に伊藤和夫、住尾勉の両評議員を指名、承認。

▼通知事項（評議員の交替）
　福井県・塚崎則男氏から越田義昭氏へ。
　島根県・船江昭光氏から中西磊氏へ。

　開会に先立ち、中澤専務理事より全日本実業団連盟顧問、湧永製薬会長・湧永儀助氏の逝去を報告し、故人の冥福を祈り黙祷をした。
　今年度国体開催地の愛知県豊田市、知立市、三好町より挨拶があった。

▼審議事項
一．平成5年度事業報告について
　専務理事が概略説明。各担当常務理事が補足説明を行い、異議なく承認された。
二．平成5年度収支決算報告について
　事務局長より詳細説明。大阪選出評議員より繰越金について質問あり、専務理事、財務担当常務理事より繰越金は単なる余剰金ではなく、永年に亘り積み立ててきたものであり、その使途については充分検討し、適正に処理したい旨回答。
　埼玉県選出評議員より会議費が倍増しているがとの質問。専務理事より世界選手権大会招致、オーナー会議開催などで会議数が増加したと回答。会計担当常務理事からも期中にも随時監査を実施、運用の適正化を図っていると回答。
　大野監事より平成5年度収支決算の監査を行った結果、適正に処理されているとの報告あり。
全会一致で承認。
三．平成6年度第一次補正予算について
　国家予算の遅れから、日本オリンピック委員会からの委託金、スポーツ振興基金からの補助金について未だ確定連絡がなく、補正予算の作成ができない。よって連絡が有り次第、補正予算を作成、文書稟議としたい旨提案、了承された。

▼報告事項
一．オーナー会議について
　平成5年11月の第1回会議以降の経緯について説明、各評議員に今後の協力を依頼。
二．97世界選手権大会招致について
　招致活動の経過及び今後の計画について報告。
三．アジア大会について
　大会の概略について報告。入場券については各県協会で取り纏め、広島県協会へ申し込むよう依頼。役員配置について報告。
四．強化関係について
　アジア大会出場メンバーは7月20日に発表したい。女子は7月にハンガリーのクラブチーム、スパルタカスと、男子は8月にスイスのクラブチーム、ファルドビンタートルー（その後ハンガリーに変更）と強化試合を行う予定。
五．日・中・韓ジュニア大会
　日、中、韓ジュニア大会が8月に韓国済州島で開催される。団長として佐分理事（高体連部長）を派遣する。
六．国体関係
　本年度の国体は愛知県、リハーサル大会は福島で開催。特にリハーサル大会出場予定のクラブチームの欠場がないよう協力を依頼。

▼その他
一．人事について
　ワーキンググループの江成、村松両氏の参事昇格については再検討。
　事務局員の退職に伴う業務担当変更報告（詳細8月号参照）。
二．全日本選手への報償金について
　報償金制度検討委員会（仮称）を発足させ検討に着手する。
三．平成7、8年度役員選出について
　選考委員会を編成。教職員連選出評議員の佐野和夫氏を座長として検討に着手する（協会役員退席のうえ決定）。

以上

■7月度常務理事会

日　時　平成6年7月16日(土)
　10時50分～16時30分
場　所　東京体育館第四研修室
出　席　中澤専務理事、常務理事

6名

野田男子強化専門委員、蒲生男子ナショナルチーム監督、藤田女子強化専門委員長、緒方女子ナショナルチーム監督

一、強化委員会報告

男女ナショナルチーム監督より強化状況とアジア大会に向けての施策について報告。

二、平成6年度第一次補正予算案審議

国家予算の編成遅れから未決定のままであった日本オリンピック委員会からの委託金、スポーツ振興基金からの助成金の決定に伴う補正予算案について説明。審議の結果、原案通り承認。

三、日本リーグチームオーナー訪問について

各担当より訪問結果報告。財政問題は更に検討し、次回オーナー会議に提案することとした。

四、アジア大会選手団について

男女選手各16名、役員9名については提案通り承認（詳細別掲）。役員の残り4名については別途検討。

五、女子ナショナルチーム、ヨーロッパ遠征日程について

8月5日出発、デンマーク、スロバキア、チェコで強化合宿を行い、9月1日に帰国。団長については専務理事、強化委員長で協議決定することとした。

六、男子ナショナルチーム国際試合について

当初、来日予定のスイスチームが来日不可能になり、ハンガリーのチームを招待することを急遽検討することとした。

七、オリンピックソリダリティー報告

オリンピックソリダリティーは好評裡無事終了の報告あり。

八、第20回（1995年）日本リーグ日程について

第20回日本リーグ日程については、アトランタオリンピック予選の日程をアジア連盟に確認してから決定する旨報告あり。

九、アジア大会審判担当役員の変更について

アジア大会ハンドボール競技審判部長の大塚常務理事体調不良のため、岡本日本ハンドボール協会審判副委員長と交替を承認。

十、報償金検討委員会について

報償金制度については、アジア大会終了後に検討することとした。

十一、2000年に向けてのビジョン作りについて

2000年に向けてのビジョンについては、協会組織の見直し、活性化の課題等を検討中であり、11月までには具体案の作成を予定している旨報告あり。

十二、全日本総合選手権大会について

本年度大会は第1日目（12月8日）のみ駒沢体育館と多摩市総合体育館、2日目（12月9日~11日）以降は東京体育館で開催。来年度は東京体育館のみで開催することとした。

CONTENTS

〔表紙〕インターハイで優勝を決めた香川中央

9月度行事予定

●ナショナル活動

男子

9/1 ～27	男子A	強化合宿	場所未定
9/28	男子A	アジア大会選手村入村	

女子

9/1 ～20	女子A	強化合宿	栃木　日立栃木
9/21～27	女子A	強化合宿	広島
9/27	女子A	アジア大会選手村入村	

●会議

9/17　9月度常務理事会

市原理事、アジア大会日本選手団役員に就任

去る6月23日に開催された第12回アジア競技大会日本選手団第1回監督会議で、日本選手団役員が発表された。

これによると、松平康隆団長以下役員9名のうち、競技担当は4名。そのうちの一人に日本ハンドボール協会理事の市原則之氏が選ばれた。同氏は全日本実業団ハンドボール連盟理事長として活躍する傍ら、日本オリンピック委員会強化本部常任委員としてスポーツ全般の強化の先頭にたって来られた。同氏が今回のアジア大会で担当される競技は、ハンドボール、サッカー、ホッケー、バスケットボール、セパタクローの球技5種目である。

ハンドボール関係者が、この様な規模の国際大会の本部役員に就任するのは初めてであり、同氏のスポーツ界に対する日頃の貢献が認められたと同時に、ハンドボール競技の存在が広く認知されたことは喜ばしい。

特集　第12回アジア競技大会広島1994

目前に迫った大会の準備状況

アジア競技大会競技施設専門委員（広島県協会常務理事）　山本　一

大会へ向けての動き

7月21日現在、広島アジア競技大会まであと75日となりました。6月21日から現在までのアジア大会がらみの主なニュースは次の通りです。

■秋篠宮さま、メーン会場等視察

秋篠宮さまが6月21日に来広され、メイン会場となる広島ビッグアーチと選手村（ともに広島市安佐南区沼田町）を視察されました。選手村では超高層棟の30階にあるテラスより選手村や広島広域公園などを一望され、組織委員会の説明に熱心に耳をかたむけられ「大会の成功をお祈りします」とお話になりました。

■団体競技の入場券発売開始

6月29日より団体競技の入場券の発売が全国のJRみどりの窓口やJTBの各支店等、約5000ケ所の窓口で一斉に始まりました。ハンドボール競技も同様に発売になりましたが、まだ組み合わせが決定していなかったため、販売状況はいまいちの様です。人気のサッカー等は日本の出場する予選3試合（サッカーの競技は既にスケジュール、対戦カードは全て決定、発表済み）は発売初日で完売でした。しかしながら、日本の入っているグループの中のブルネイが不参加を表明し、またモンゴルも不参加を伝えてきたため、抽選のやり直しを行うかなど大変な騒ぎです。過去のアジア大会においても、参加の意志を示した国が突然参加を取り止めたり、大会関係者、競技関係者は、競技の開始まで安心しておれません。

■広島アジア大会記念貨幣のデザイン発表

大蔵省は6月28日、広島大会の記念貨幣のデザイン、発行枚数なども発表しました。発行されるのは3種類で、表は「走る」「泳ぐ」「跳ぶ」姿を描いた図案です。裏は大会のシンボルマークと広島県の県花・木のモミジを組み合わせたものです。

■入賞メダルが完成

入賞メダル（金・銀・銅）と全選手、役員に贈る参加メダルが披露されました。

■選手村の宿舎が完成

宿舎と国際センターが完成し、野村不動産より引き渡しを受けました。

第12回アジア競技大会
広島1994

■43NOC歌の収録が完了

広島大会に参加予定の43のオリンピック委員会（NOC）歌の収録が広島市消防音楽隊の演奏により行われました。各国ごとに民族楽器を使った曲や、ヨーロッパ風の曲、勇壮な曲など、それぞれに特徴のあるものです。

■42NOCからエントリー

組織委員会は7月4日、大会に参加する各国地域の選手団の数のエントリーを締め切りました。その結果、アジアオリンピック評議会（OCA）に加盟する44カ国・地域のうち、北朝鮮と加盟資格停止中のイラクを除く42カ国・地域のNOCより申込みがあり、個人と団体の選手・役員の総数はアジア大会史上最高の8346人となりました。実際には減少すると思いますが、9月2日締め切りの氏

名のエントリーで最終決定します。

■聖火リレーの概要発表

組織委員会は7月13日、広島大会の聖火リレーの日程を発表しました。9月7日に前回アジア大会開催地の北京で「アジアの火」を採火後、東京の国立競技場で披露した後、広島市へ入ってきます。11日に平和記念公園で「平和の火」を採火し、アジアの火と一つにする「聖火集中式」を行い、聖火の誕生となります。

聖火はその後、二つのコースに分かれて、広島県外の近畿や中四国、九州の一部17府県を車で回ったのち広島県入り、県内の全86市町村を3410人でリレーします。

ハンドボール競技情報

続いてハンドボール競技についてですが、参加国も女子の部にキルギスタンの不参加も正式に決定し、男子が日本、韓国、中国、クウェート、サウジアラビアの5カ国、女子が日本、韓国、中国、カザフスタン、トルクメニスタンの5カ国と正式決定しました。

組み合わせはAHF規定により、1グループのラウンドロビンシステム（1回戦総当たりリーグ戦）による対戦となります。当初のスケジュールでは、9月11日に日本において組み合わせ抽選会を行うことになっていましたが、入場券の販売等のこともあり、出来るだけ早い時期に対戦カードを決定し、具体的な準備を進めてまいりたいと思っています。

ハンドボール競技の全体的ボリュームが決定したことで、準備活動にも拍車がかかってまいりました。7月17日には広島より山下泉県協会長以下7名が日本ハンドボール協会を訪れ、第2回目の日本協会との合同準備委員会を開催しました。日本協会側は中澤専務理事以下多数の関係者が出席されました。会議では、①参加国の確認、②競技日程等スケジュール、練習スケジュールの基本計画の承認、③大会運営組織及び人員配置の確認、④担当業務内容の概略説明、⑤大会運営役員の出務日程の確認……等、広島側がこれまでの経過を踏まえ、説明し質疑応答、検討を行いました。

広島大会ではハンドボール関係者による競技運営本部と、広島市の職員を中心とするボランティア役員による会場運営本部との二本部制で運営に当たる訳ですが、競技運営本部には中澤本部長以下158名の役員、38名の通訳、95名の大学生が登録しています。会場運営本部には広島市東区役所の片岡寿総務課長が会場運営本部長として陣頭指揮をとられますが、本部長以下107名のボランティア役員、15名の通訳、10名の医師及び看護婦で組織されています。

競技会場本部の医務業務には、日本ハンドボール協会も遠征、合宿のたびにお世話になっている広島の浜脇整形外科病院の先生や、看護婦の皆さんが担当される予定です。浜脇病院の濱脇純一院長は広島県協会の副会長、広島市協会の会長もお願いしていますが、ハンドボールの発展のため非常にご尽力いただいている先生です。

組織委員会は7月13日、大会の聖火リレーの概要を発表しましたが、広島県内の全市町村301区間を走る聖火リレー走者の中にハンドボール関係者が多数参加します。聖火リレーは各区間とも聖火保持者1人、副保持者2名、伴走者8名の計11人がチームを組み、延べ3410人が参加します。

聖火保持者には、元全日本チームのエース、湧永製薬の玉村健次君、今年発足した実業団女子チーム、イズミの長久直子主将、林五卿（イム・オギョン）さんが走ります。中でも林五卿さんは、バルセロナ五輪で金メダルを取った韓国チームの一員として活躍した選手で、新生イズミチームの助っ人としてこの3月に広島に来たばかりの選手です。「広島へ来たばかりの私が選ばれてびっくりした」と、すっかり上達した日本語で新聞記者のインタビューに答えていましたが、国際平和都市を目指す広島にとっても大変意義深いものがあると思われます。開局したばかりのFM放送局「あ・ポック767」からも出演依頼が来ており、ハンドボールファンの開拓にも一役かってくれそうです。

この様に大会を目前に、広島のアジア大会は燃えています。全日本の男女チームは強化合宿を続け、メダル獲得に懸命ですが、私たち役員も選手たちが思い切りプレーできるよう準備を行いますから、全国のハンドボールファンの皆さんが多数広島に来られることを期待しております。

■選手団長会議

7月21日、22日の両日、大会に参加する予定の各国選手団、代表団が広島で選手団長会議を行いました。競技場、選手村の視察及び選手団の輸送、競技運営など、選手団に直接関係のある事柄について質疑が行われました。

■大会専用FM局「あ・ポック767」開局

広島市民が手作りで広島大会の情報を専門に放送するFM局「あ・ポック767」が7月16日に広島市の中心地・紙屋町に出来た広島の新名所基町クレドに開局しました。

特集 第12回アジア競技大会広島1994

出場選手が決定！

田口　陸コーチ　男子監督　蒲生晴明

●男子選手

①所属②生年④体重⑤[illegible]ション⑥出身地⑦出身校⑧特徴

堀田 敬章（ほった のりあき）

①湧永製薬②1964.10.22③171cm④73kg⑤コートプレイヤー⑥愛知県⑦県岐阜商高－日本大⑧サイドシュート、速攻が武器。角度のない所から多彩なサイドシュート

井上 耕一（いのうえ こういち）

①中村荷役②1967.10.4③184cm④83kg⑤ゴールキーパー⑥東京都⑦川崎北高－東海大⑧型破りな変則キーピングで、止めだしたら止まらない

林 康一（はやし こういち）

①大同特殊鋼②1967.3.3③181cm④78kg⑤ゴールキーパー⑥福岡県⑦九州産高－福岡大⑧ガッツあふれるキーピング、素早い速攻パス

橋本 行弘（はしもと ゆきひろ）

①本田技研②1965.9.17③186cm④81kg⑤ゴールキーパー⑥愛知県⑦岡崎城西⑧日本の守護神。チームをまとめるキャプテン

田中 茂（たなか しげる）

①三陽商会②1967.9.2③182cm④79kg⑤コートプレイヤー⑥長崎県⑦瓊浦高－筑波大⑧相手オフェンスを撹乱するディフェンス

末岡 政広（すえおか まさひろ）

①大同特殊鋼②1967.9.1③177cm④77kg⑤コートプレイヤー⑥福岡県⑦瓊浦高－福岡大⑧全日本チームのコントロールタワー。華麗なステップシュート

魚住 和彦（うおずみ かずひこ）

①大崎電気工業②1966.10.24③188cm④80kg⑤コートプレイヤー⑥熊本県⑦東海大二高－東海大⑧豊かなジャンプ力を活かしたロングシュート。シュートスピードはチームNo.1

首藤 信一（しゅとう しんいち）

①大崎電気工業②1965.1.10③188cm④85kg⑤コートプレイヤー⑥岩手県⑦盛岡商高⑧オールラウンドプレイヤー。そつのないプレーでベテランの味

源内 利之（げんない としゆき）

①日新製鋼②1968.10.12③181cm④81kg⑤コートプレイヤー⑥山口県⑦大分電波高－国士舘大⑧思いきりの良いサイドシュート

田中 雅彦（たなか まさひこ）

①湧永製薬②1968.9.21③184cm④82kg⑤コートプレイヤー⑥福岡県⑦久留米工大高－福岡大⑧安定したディフェンス力。粘り腰のポストシュート

三輪 澄高（みわ すみたか）

①トヨタ自動車②1968.1.31③188cm④85kg⑤コートプレイヤー⑥愛知県⑦中京高－同志社大⑧パワフルなカットイン。ここ一番頼りになるロング砲

渡辺 浩（わたなべ ひろし）

①三陽商会②1967.10.20③183cm④74kg⑤コートプレイヤー⑥岡山県⑦武蔵村山東高－日本大⑧鋭い出足からの速攻。確率の高いシュート

冨本 栄次（とみもと えいじ）

①大同特殊鋼②1971.10.18③182cm④81kg⑤コートプレイヤー⑥神奈川県⑦日体荏原－日体大⑧切れるフェイント、シャープなロングシュート

岩本 真典（いわもと まさのり）

①三陽商会②1970.9.28③200cm④88kg⑤コートプレイヤー⑥熊本県⑦熊本市立商高－早稲田大⑧長身を活かした高打点シュート。多彩なパスワーク

藤井 孝志（ふじい たかし）

①大同特殊鋼②1969.7.27③189cm④86kg⑤コートプレイヤー⑥富山県⑦高岡向陵高－筑波大⑧パワフルなディフェンス。大型ポストマン

中山 剛（なかやま つよし）

①湧永製薬②1969.7.4③191cm④87kg⑤コートプレイヤー⑥福岡県⑦久留米工大高－福岡大⑧膝のケガも治り、豪快なロングシュート。日本のエース

目前に迫った第12回アジア競技大会の日本ハンドボールチームの役員・代表選手が、7月16日の日本協会常務理事会で決まった。

《役員》

団長　井　薫
広報　木野　実
男子強化委員長　津川　昭
女子強化委員長　藤原　侑
男子監督　蒲生　晴明
男子コーチ　田口　隆
〃　関　健三
女子監督　緒方　嗣雄
女子コーチ　穂積　豊彦
〃　伊藤　宏幸

選手及びプロフィールは次の通りとなっている。(敬称略)

穂積　豊彦コーチ

女子監督　緒方嗣雄

関　健三コーチ

●女子選手

小松　晃子（こまつ　あきこ）

①シャトレーゼ②1969.9.11③178cm④68kg⑤コートプレイヤー⑥秋田県⑦大曲農高⑧全日本の大砲として高い打点のロングシュート

市来　未央（いちき　みお）

①日立栃木②1969.1.3③159cm④65kg⑤コートプレイヤー⑥大阪府⑦四天王寺高－日体大⑧チームリーダーとして常に冷静なゲーム運びとゲームワーク

村山みどり（むらやま）

①シャトレーゼ②1969.1.9③177cm④69kg⑤ゴールキーパー⑥愛知県⑦名古屋短大付高－東女体大⑧キーピング安定度No.1。全日本の守護神

川島ゆう子（かわしま）

①オムロン②1968.10.21③174cm④66kg⑤ゴールキーパー⑥鹿児島県⑦牧園高⑧常に冷静にゴールを守り、一発勝負に期待

谷本　泉（たにもと　いずみ）

①北国銀行②1970.6.5③163cm④55kg⑤コートプレイヤー⑥石川県⑦小松市立高⑧キャプテン。ポーカーフェイスであるが、ポストマンとして相手ＤＦをかき廻し確率の高いポストシュート

小俣　訓子（おまた　くにこ）

①大和銀行②1969.11.15③156cm④54kg⑤コートプレイヤー⑥静岡県⑦静岡城北高⑧サイドのスペシャリスト。特に7mスローを期待

貴田　直子（きだ　なおこ）

①日立栃木②1969.10.18③174cm④64kg⑤コートプレイヤー⑥青森県⑦青森西高⑧エースポジションから自信に満ちたロングシュート

比嘉　晴美（ひが　はるみ）

①福岡大学(元オムロン)②1969.9.12③162cm④51kg⑤コートプレイヤー⑥沖縄県⑦具志川高⑧左腕でくせのあるサイドシュート

土師　基子（はじ　もとこ）

①ジャスコ②1971.9.14③166cm④61kg⑤コートプレイヤー⑥大阪府⑦山陽女高⑧突破力No.1。スピーディーなミドルシュート

西口　貴子（にしぐち　たかこ）

①大和銀行②1971.6.28③173cm④63kg⑤コートプレイヤー⑥長崎県⑦夙川学院高⑧ＤＦ専門。強いマンツーマン

西村　聖子（にしむら　せいこ）

①オムロン②1970.10.14③175cm④65kg⑤コートプレイヤー⑥大阪府⑦四天王寺高－武庫川大⑧ＤＦ専門。大声でＤＦのコントロールタワーに

松下由紀子（まつした　ゆきこ）

①北国銀行②1970.8.27③161cm④52kg⑤コートプレイヤー⑥石川県⑦小松商高⑧スピード、切れNo.1。速攻での得点を期待

田中美音子（たなか　みねこ）

①大和銀行②1975.1.14③160cm④55kg⑤コートプレイヤー⑥大阪府⑦四天王寺高⑧スピーディーなサイドマン。相手を撹乱するパスワーク

山川　由加（やまかわ　ゆか）

①ブラザー工業②1974.5.29③167cm④60kg⑤コートプレイヤー⑥愛知県⑦名古屋短大付高⑧左腕。フェイント力を活かしたカットインとテクニックのロングシュート

松本　恵美（まつもと　えみ）

①日立栃木②1973.7.6③171cm④72kg⑤コートプレイヤー⑥栃木県⑦国学院栃木高⑧パワーロングシューター。相手DFを突破するロングシュート

上出恵美子（かみで　みえこ）

①北国銀行②1973.5.17③168cm④60kg⑤コートプレイヤー⑥石川県⑦小松商高⑧ゲームメイク中心。体力、スピードを活かしオールラウンドプレー

第12回アジア競技大会広島1994

ハンドボール競技スケジュール決まる

8月8日、広島市HAGOCにおいてAHFの第一副会長、KIM CHONG HA立ち会いのもと厳正な抽選を行い、下記のように組み合わせが決まった。

【男子】 参加NOC数5(中華人民共和国、日本、大韓民国、クウェート、サウジアラビア)

日程	開始時間	対戦組み合わせ
10月 6日(木)	17:00	大韓民国 × サウジアラビア
	18:40	日本 × 中華人民共和国
10月 8日(土)	15:00	大韓民国 × クウェート
	16:40	日本 × サウジアラビア
10月10日(月)	15:00	中華人民共和国 × クウェート
	16:40	サウジアラビア × 大韓民国
10月12日(水)	17:00	中華人民共和国 × 大韓民国
	18:40	クウェート × 日本
10月14日(金)	15:00	サウジアラビア × 中華人民共和国
	16:40	大韓民国 × 日本
		表彰式

【女子】 参加NOC数5(中華人民共和国、日本、カザフスタン、大韓民国、トルクメニスタン)

日程	開始時間	対戦組み合わせ
10月 5日(水)	17:00	中華人民共和国 × カザフスタン
	18:40	日本 × トルクメニスタン
10月 7日(金)	17:00	大韓民国 × 中華人民共和国
	18:40	日本 × カザフスタン
10月 9日(日)	15:00	トルクメニスタン × 中華人民共和国
	16:40	カザフスタン × 大韓民国
10月11日(火)	17:00	トルクメニスタン × 大韓民国
	18:40	中華人民共和国 × 日本
10月13日(木)	15:00	カザフスタン × トルクメニスタン
	16:40	大韓民国 × 日本
		表彰式

競技会場：広島市東区スポーツセンター

世界選手権大会招致で北欧4カ国訪問

井　薫

4月のスイス・ローザンヌのIHFの評議委員会は日本協会側のプロポーザルと熊本側のプレゼンテーションが目的でしたが、そのプロポーザルについては、開催権料とメディア、広告といった現代のイベントには不可欠なテーマを、どんな風にクリアするのか、その正否がイベントを方向づけると言っても過言ではありません。

その部分について、93年に男女それぞれの大会を開催したスウェーデン、ノルウェー、95年男子開催のアイスランド、そして本年9月、97年の開催地が審議されるIHF総会会場地のオランダの4カ国を、協会常務理事で招致委員の植村氏と訪れました。

6月27日、ストックホルム郊外のスウェーデン協会を訪問。世界選手権の経理担当のMr. THELINに会いました。同氏とは昨年3月の大会期間中に、渡邊副会長と一緒に大会の経費について話を伺いましたが、まだその時点では日本招致が具体化していない時で、概念的理解で終わりましたが、今回は調査項目を前もって届けておいてのヒアリングでしたから、納得できる情報を得る事が出来ました。

また、今回初めて知った事ですが、93年の大会はスウェーデンの他に、アイスランドも同時に立候補しましたが、88年のソウルでの総会で話し合いで決定したとの事で、97年の開催についても日本とエジプトとで話し合いの可能性も僅かながらあるのではとの気にもなりました。

29日にはノルウェー協会でTOR LIAN会長と、会計担当のMr. PER OTTO FURUSETHと会う事が出来ました。

LIAN会長とは1990年の韓国での女子の世界選手権大会の前後に、日本チームとの交流や日本への招待等で、何度もお会いしている旧知の間柄で、まず昨年末のオスロでの女子の世界選手権大会と、リレハンメルの冬季オリンピックの成功のお祝いを申し上げますと、大変喜んで1997年の男子大会の日本の招致は知っているし、世界選手権大会の開催国としてのIHFとの交渉経過等、日本の知りたい事は何でもどうぞ、と言う事でスウェーデン同様に事前に届けてあった調査項目に親切に答えて貰えました。

話が一段落した所に、2月に国際審判の審査で来日したOIVIND BOLSTADが例の人なつっこい笑顔をだして、ひとしきり日本の想い出話で賑いましたが、日本滞在中に一日足を伸ばしてくれた熊本の印象を、大変熱っぽくノルウェー協会の2人に語って貰い嬉しく思いました。そして彼とは10月のアジア大会での再会を約束して、協会を後にしました。

三番目のアイスランドは、北大西洋上の島で、1988年レーガン、ゴルバチョフの東西の首脳会談が行われ、皆様の記憶にも新しい所だと思いますが、ハンドボールがとても盛んで日本の男子チームもヨーロッパ遠征中に2度立ち寄っています。

アイスランド協会は、来年の5月に第14回大会を開催しますが、13回大会までが16カ国の大会規模のものが、24カ国と大幅に増加した事や、景気の交代で当初予定したスポンサーが難しくなったりの、状況の変化を踏まえてのIHFとの交渉が、かなり難行している事もあって、お互いの挨拶が終わると、堰を切ったようなIHFへの不満をたっぷりと聞かされました。

IHFと大会開催国との間に、ヨーロッパのエージェントのCWLが広告をはじめ、テレビの放映権等に介入する事が、事態をより複雑にしていますが、IHFとのエージェント契約の事実は強く、日本もこの点は充分研究をして対応、有利にクリアしなくてはならない示唆を受けました。

最後のオランダ協会には、9月のIHF総会時の日本のプレゼンテーションの理解を得る事と、協力の依頼でしたが、その午後には、アムステルダムから約40分の総会会場のノードベイクのホテルまで、協会から3名が同行してくれホテル側との諸交渉や日本コーナーの設置に、彼らなりのアイデアを出してもらったりで、私どもの期待以上の対応を頂きました。

訪問したどの国も、世界選手権大会の日本開催には好意的ですが、やはりヨーロッパからの遠隔地としてのチャーター便や格安の航空チケットの手配、テレビ放映の時差の問題等納得のいく説明や治安の良さを始め、日本の熱意や魅力をアピールする事が、大会招致に向けての大切な部分であることを再認識する旅行でした。

第7回全国小学生ハンドボール大会

男子は昨年に引き続き当山小
女子は花園小（熊本県）が優勝

普及委員　**佐路　清隆**

今年で第7回を迎えた全国小学生ハンドボール大会が、7月30日から8月1日までの3日間、炎天下の京都府田辺町において、男子22道府県23チーム、女子17府県18チーム、計819名の選手・役員の参加を得て開催された。

第6回大会までは、田辺公園多目的グランド・田辺中央体育館を中心に屋内外兼用で大会を開催してきたが、本年の大会より参加した児童の暑さに対する負担の軽減、試合条件の統一等をも考え、前回まで雨天会場として準備していた同志社大学体育館、八幡市民体育館を使用。すべての試合を屋内会場で実施することになった。

しかし、会場が分散するため、会場間での盛り上がりの差は見られたが、好条件で試合ができたことにより随所に好プレーがみられた。

また、7月30日、試合に先立ち、監督・代表者会議が行われ、その会議の席上で小学生ボールの規格決定にいたるまでの経過説明を求められ、これに対し小西（財）日本ハンドボール協会普及委員長からボールの変更は、小学生の技術の向上（ボールハンドリング）・安全性の向上及び日本、韓国、中国、台湾等アジア各国のボールサイズを統一し、将来アジア小学生大会の開催実現に向けての布石であると趣旨説明があった。

今大会より採用された新小学生ボールによる試合においては、大人顔負けのラテラルパス、シュートフェイント等の高技術のプレーが随所に見られたことから、今回ボールが一回り小さくなったことは、今後小学生プレイヤーのレベルアップに非常に意義深いものであると思われた。

他に、今まで京都府協会のみで賄っていた審判員を今大会より近畿ハンドボール協会のご尽力により、近畿各府県より1ペア派遣いただき、より大会の充実を図ることとした。このことにより、より公平な運営が期待できるとともに、フレンドリーシップ（交流大会）からチャンピオンシップ（競技大会）への移行の時期にきている小学生ハンドボール大会が、一歩前進したと考える。

さて、試合では参加チームが第6回大会より男子1チーム、女子2チーム減少したことにより、多少変則的な組み合わせとなったが、参加された各チームとも、各協会関係者及び指導者の真剣な取り組みにより、よく練磨されており、男子予選リーグの順位決定が3ブロックも得失点差によって決定したことからもわかるように、年々接戦が多くなり、チーム間の格差がなくなってきた。

男子予選リーグにおいては、当山小学校ハンドボールチーム（沖縄県）、長崎選抜（長崎県）、安堵の里ハンドボールクラブ（奈良県）、窪スポーツ少年団ハンドボールクラブ（富山県）、田辺東小学校（京都府）、長万部小学校ハンドボールクラブ（北海道）、田辺町選抜（京都府）、塩山ハンドボールスポーツ少年団（山梨県）が決勝トーナメントに進出。決勝戦には長崎選抜、窪スポ少を安定した強さで連破し、2年連続優勝を狙う当山小学校が進出。これに対し、京都府同士の決勝進出をかけた熱戦が展開され、逆転のすえ田辺東小学校が決勝進出。昨年に引き続き沖縄県VS京都府の決勝対決となった。

決勝進出の両チームとも、互いに小柄ながら速いパス回しからのフェイントで相手ディフェンスを翻弄する似たチーム同士だったが、ディフェンス力で上回る当山小学校が2年連続優勝を飾った。

女子においては、明野西ハンドボールクラブ（大分県）、安堵の里ハンドボールクラブ（奈良県）、花園ハンドボールクラブ（熊本県）、笹川ハンドボール少年団（三重県）、浦添宮城小学校スポーツクラブ（沖縄県）、仏生寺スポーツ少年団（富山県）が予選リーグでは圧倒的な強さで決勝トーナメントに進出。決勝戦はともに1点差で明野西を下した花園ハンドと浦添宮城を破った2年連続決勝進出の仏生寺スポーツの対決となったが、自力に優る花園ハンドが走り回り、第3回大会の網津小学校に引き続き、熊本県に優勝杯を持ち帰った。

最後に、一日でも早く全県からのチームがここ田辺町に参集して、一層盛大な大会になることを希望し、大会の結果報告とします。

全国高等学校総合体育大会

男子は香川中央が二冠を達成！

女子は洛北が福井商を下して初優勝飾る

臼井 鉄久

「立山に えがけ大きく 君の青春」のローガンのもと、全国高等学校総合体育大会・高松宮賜第45回全日本高等学校ハンドボール選手権大会が18年ぶりに、魚とハンドボールの町、富山県氷見市に帰ってきた。

冷夏に終わった昨年とうってかわって、記録的な猛暑の続く今夏、8月1日から6日まで氷見高校、氷見市総合体育館で開催された。

●女子

昨年の三冠王・名短大付が3回戦敗退、春のクイーン・熊本国府はベスト8止まりなど序盤から中盤にかけて優勝候補が脱落していく中、ベスト4に勝ち残ったのは夙川学院、福井商、昭和学院、洛北となった。

夙川学院対福井商は、西田と穂積の長身アタッカーを主体に攻め込む夙川学院に対し、どこからでも攻撃できる福井商。試合当初から先手を取り、自分たちのペースで進めた福井商が終盤、夙川学院の激しい反撃にあいながらもそれまでの“貯金”が大きく、嬉しい初の決勝進出となった。

続く昭和学院対洛北は、守りでGKとのコンビから巧く攻撃につなげた洛北が選抜に次いで勝ち上った。

こうして迎えた決勝戦。福井商対洛北ともに初の決勝進出ながら前評判の高かった両校だけに試合の興味は尽きない。

二年前、超中学生級といわれて全国制覇した大東中学のメンバーを擁して臨んだ昨年の大会、見事にベスト8入りし、今年はそれ以上を狙っている福井商。新進ながら常に上位に進出し、今ではすっかり全国の“顔”になりつつある洛北。

福井商のスローオフで始まったこの試合、先手を取ったのは洛北。双子の長身アタッカー浦田（万）がセンターからのジャンプシュートを決める。続く福井商はシュートが決まらず、オールラウンドプレイヤーの澤が右45度からゴールインさせ、2－0と主導権をつかもうとする。

すぐさま福井商も池本がセンターから決め、そうはさせまいとする。洛北は浦田（芳）がリバウンドを拾い、3－1。5分過ぎ洛北はラインクロスやパッシブプレーなどが重なり、攻撃にリズムを失うが、福井商もフォーメーション主体のチームにエース村上が負傷のため充分な切れが見られず、こちらもペースをつかめない。

20分過ぎ、洛北は再び二度のパッシブプレーがあり、歯車がうまくかみあわないが、そこはディフェンスの連繫で被害を最少にくいとめており、8－5で前半を終了する。

後半に入ると洛北は守りと攻撃のリズムが合い出し、更に福井商は攻撃では7MTを連続して阻止され、守りは退場が重なるというまさに悪循環。一気呵成にでた洛北が完全にリズムを握り、結局後半はわずか失点2の合計18－7の大差で初優勝を飾る。

男子

香川中央高校（初優勝）

回戦	対戦	スコア
1回戦	県立境港工業（鳥取）－県立都城工業（宮崎）	12－23
1回戦	青森商業（青森）－新潟江南（新潟）	25－19
1回戦	市立桜台（愛知）－屋代（長野）	26－17
1回戦	大分電波（大分）－浦和学院（埼玉）	12－10
1回戦	県立伊奈（茨城）－修道（広島）	18－7
1回戦	高岡向陵（富山）－県立池田（徳島）	33－12
1回戦	四日市工業（三重）－育英（兵庫）	21－26
1回戦	興南（沖縄）－東根工業（山形）	28－9
1回戦	駿台甲府（山梨）－久留米工大附（福岡）	16－30
1回戦	府立北嵯峨（京都）－高知東（高知）	18－20
1回戦	県立富岡（群馬）－県立羽後（秋田）	21－24
1回戦	長浜北（滋賀）－県立氷見（富山）	15－36
1回戦	桃山学院（大阪）－明星（東京）	26－14
1回戦	札幌琴似工業（北海道）－松山北（愛媛）	19－14
1回戦	県立江津（島根）－仙台育英（宮城）	7－18
1回戦	熊本市立商業（熊本）－県立岐阜商業（岐阜）	17－9
2回戦	香川中央（香川）－県立都城工業	34－11
2回戦	青森商業－二松沼南（千葉）	10－27
2回戦	盛岡第一（岩手）－市立桜台	15－17
2回戦	大分電波－県立富雄（奈良）	25－17
2回戦	瓊浦（長崎）－県立伊奈	14－13
2回戦	高岡向陵－県立耐久（和歌山）	31－9
2回戦	東岡山工業（岡山）－育英	17－22
2回戦	興南－横浜商工（神奈川）	17－19
2回戦	北陸（福井）－久留米工大附	20－14
2回戦	高知東－学法石川（福島）	17－25
2回戦	県立富士（静岡）－県立羽後	18－16
2回戦	県立氷見－県立甲陵（鹿児島）	28－11
2回戦	神埼農業（佐賀）－桃山学院	15－27
2回戦	札幌琴似工業－下関中央工業（山口）	12－29
2回戦	国学院栃木（栃木）－仙台育英	17－16
2回戦	熊本市立商業－小松工業（石川）	17－18
3回戦	香川中央－二松沼南	19－6
3回戦	市立桜台－大分電波	18－20
3回戦	瓊浦－高岡向陵	19－24
3回戦	育英－横浜商工	12－22
3回戦	北陸－学法石川	26－19
3回戦	県立富士－県立氷見	13－27
3回戦	桃山学院－下関中央工業	28－16
3回戦	国学院栃木－小松工業	16－21
準々決勝	香川中央－大分電波	17－8
準々決勝	高岡向陵－横浜商工	10－14
準々決勝	北陸－県立氷見	22－21
準々決勝	桃山学院－小松工業	23－21
準決勝	香川中央－横浜商工	24－7
準決勝	北陸－桃山学院	22－21
決勝	香川中央－北陸	22－21

試合後、大喜びの洛北セブンを横目に楠本監督は福井商のエースを警戒しながらも怪我のために戦力にならなかったことや、選抜後はもっぱら基礎トレーニングやディフェンス練習に重点が置かれ、雪辱を果たしたことを喜びをかみしめながら語ってくれた。

●男子

序盤戦の目玉としては、大分電波対浦和学院のダークホース同士の一戦は、両チームとも堅いディフェンスからロースコアの争いになり、終了間際、大分電波はGKが退場となり不利を思わせたが、逆にチームワークで勝利をつかんだ。

結局、香川中央、横浜商工、北陸、桃山学院がベスト4に進んだ。

香川中央対横浜商工は、いきなり飛び出した香川中央を必死に追いすがる横浜商工。勝負の行方は混沌とするかに思われたが、後半をシャットアウトに押えた香川中央が選抜に次いでの決勝進出。

北陸対桃山学院は、北陸がリードしては桃山が追いかけるといった展開。逆に後半は桃山学院が先手を取っていき一進一退。しかし終了間際に桃山学院は痛い退場を出す間に北陸はVゴールを決めた。

香川中央対北陸の一戦も、女子同様初の決勝進出。今春の選抜準決勝でも大接戦を演じただけに、今回も最後まで予断を許さない。予想通り試合が始まると、両チームともなかなか飛び出せない。序盤は北陸がややリードの感があったが、12分過ぎあたりから完全に混沌とし始める。

冷房のない館内は更に暑さを増し、フロアーが滑りドリブルが全くコントロールできない状態。19分過ぎに香川中央は、高田と所にマンツーをつかれる。19－19と延長に入る。延長前半は香川中央が高田らのシュートで2点リード。後半は両チーム1本ずつ7MTを決める。北陸も最後まで執念をみせ、赤松が速攻を決めて1点差。しかし間もなく無情のタイムアップ。香川中央が選抜に次いで二冠を達成した。

●優秀選手

なお、今大会ベスト8以上のチームから、平成6年度優秀選手として男女各15名の選手が選ばれた。

▽女子

澤麻理子・浦田芳江・浦田万紀・松田尚子（以上、洛北）、池本明美・酒井久美子・中村友美（以上、福井商）、岩井由香・岡田桃子（以上、昭和学院）、西田由美子・穂積知紘（以上、夙川学院）、一野久美子（熊本国府）、伏見麻美子（四天王寺）、岡野早苗（水海道二）、西原美佳（浦添）

▽男子

藤沢輝明・高田元輝・伊藤良弘・所 努（以上、香川中央）、谷口了・緒方大樹・赤松典明（以上、北陸）、峰村敦・安斉稔（以上、横浜商工）、小薮憲次・井上博人（以上、桃山学院）、江藤嘉宣（大分電波）、原充良（高岡向陵）、街道功（氷見）、小川友康（小松工）

最後に、連日猛暑の中、大会運営に携わっていただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

女子優勝の洛北高校

男子優勝の香川中央高校

A・B級審判員審査会の反省

審判部審査委員会委員長　狩野　幸介

レフェリーは、プレイヤーとコーチ、役員の信頼がなければならない。

レフェリーは、精神的強さが確実に得られるよう、経験と研修をしていれば、これが機能して始めてレフェリーとしての任務とプライドが持てるようになるのである。

今回のテストで感じたことを列記する。

▼段階的罰則適用について

8条〔相手に対する動作〕に示されていることは、プレイヤーの安全を守るためのものである。

1項～3項までは、許される行為。4項～15項までは許されない行為である。ここをよく理解していない。

▼段階的罰則適用と反則

一、ボールを取ろうとしている時の動作なのか、又はフリー状態のボールなのか、またはボールを取ろうとして、派生的に生じた動作と見るか。

二、防御動作に、ボールを対象とせず、相手に対しての反則〔段階的罰則適用〕に位置する場面であるか。

試合の中での行動は、攻撃側は得点しようとする。防御側はそれを阻止しようとする。この目的追及で両チームは規定された〔相手に対する動作〕枠内で実現することが出来るのである。

4項～15項までは許されない、これが甘いとゲームそのものがつまらくなる。

▼7mスロー

特に、攻撃側の反則が、7mスローとなってしまう。押し込みを、ライン内防御と判定してしまうケースが非常に多い。

※早く位置を占めたプレイヤーは、そこで優先性が認められるべきで、攻撃側のチャージングの反則である。

7mスローの判定は、明らかな得点チャンスの場合の反則（見極めをする）

▼ポストプレー

攻撃側にも防御側にとっても同等の判断基準で取り扱うべきであるが、攻撃側にどうしても有利に吹くケースが多い。ポストプレイヤーへのパスミスやキャッチミス等を防御側反則にしてしまうケース。それからレフェリーがボールを持たない攻撃側のポストプレイヤーが押したりホールディング、手を叩く・掴む、ブロックプレーでの反則は見逃しが多いため、見逃された攻撃側の反則は、往々にして試合全体に悪い展開となり、防御側の粗暴行為となって現われ、ハンドボールの退廃につながるのでゴールレフェリーは目配りをして判定すること。

▼レフェリーの任務について

競技場には、両チームで32名（コート内に14名）を監視コート内の競技者に対してスムーズな運営をするために厳しい判定を迫られることもある。

コートレフェリーは、ボールを中心とし攻防戦に注意を向けているから、ゴールレフェリーはボール以外のプレイヤーに注意を払わなくてはならない。

▼アドバンテージボールの適応

一、攻撃側がまだ有利にプレーを続行可能であるにもかかわらず、レフェリーが試合を止めてフリースローにしてしまう事が多い。反則をしたチームを有利にしてしまうことがある。

二、攻撃側がルール通りにゴールを成功させたにもかかわらず、防御側に反則があったとして7mスローを有利に扱う（7mスローが不成功となる場合が多いので）。

三、アドバンテージとは、ボール保持者（攻撃側）が有利に攻めていて、発展性のあるプレーについてはこの項を取り入れる。

試合の流れの円滑さを考え、動きや流れを止めることなく続く状態はハンドボールの魅力であり、ボールとプレイヤーの絶え間ない動きによるコンビネーションによって成功を目指して、トレーニングしたチームに不利にならぬようにしたいものだ。

フリースローによる中断があると防御側の陣型の立て直しの時間となることが多い（反則を防御の手段としている）。

予測プレー（全体を見る）を判断する眼力と経験が必要となってくる。

▼特に感じたことは

受験者が審判員として、どれだけの意欲があり、日頃から研修と各大会等でブロック審判長・県審判長の指導や講習会を受けてきたかによって合否が決まったような感がする（両レフェリーコンビ・ジェスチャー・走力、審判時の位置取り等を見ても判る）。只の一試合で合否を判定するのは心ならずも否は否として判定せざるを得ない。

――審判員の能力こそが、選手の技術向上にもつながるという認識に早く審判員が自覚してもらいたい。

日々の研鑚努力を忘れずに！

平成6年度A・B級合格者

審判審査委員会

■A級(43名中26名合格)

大橋　幹正(北海道)	高橋　一(秋田)	谷藤　節雄(岩手)
中島　昭博(岩手)	五味　崇恵(千葉)	富田　拓(千葉)
木村　奨(神奈川)	松川　純史(神奈川)	山口　弘夫(富山)
岩上浩一郎(富山)	徳前　紀和(富山)	竹野　誠司(福井)
河合　千丈(愛知)	木和田浩史(愛知)	佐久間良幸(京都)
西田　充(京都)	小林　弘和(奈良)	金丸　雅美(奈良)
清水　修(香川)	高橋　卓也(高知)	角　直樹(山口)
原井　進(山口)	島村　浩信(大分)	一万田尚登(大分)
中地　健三(沖縄)	仲里　貢(沖縄)	

■B級(64名中42名合格)

村瀬　清史(北海道)	俵　英生(北海道)	三栖　雅之(北海道)
野平健二郎(埼玉)	綿引　智(埼玉)	塚本　良則(埼玉)
泉水　孝浩(千葉)	小松　厳(神奈川)	松尾　正行(神奈川)
渋谷　正道(神奈川)	定森　秀光(神奈川)	中村　久(神奈川)
斉藤　史洋(神奈川)	中浦　悟(富山)	西田　康典(富山)
坂口　毅司(富山)	上野　直喜(富山)	桜打　佳浩(富山)
八十山　修(石川)	北中　弘規(石川)	近藤　嘉明(愛知)
有我　勝典(愛知)	早川　真澄(愛知)	杉浦　俊孝(愛知)
川勝　宏治(京都)	西沢　祐二(京都)	前川　明範(京都)
中島　良夫(京都)	佐川　正巳(奈良)	矢野　勝弘(奈良)
[illegible]条　和也(福岡)	藤田　章祐(福岡)	浦川　寿生(長崎)
石崎　章弘(長崎)	平原　慶二(長崎)	金子　弘明(長崎)
長尾　明徳(大分)	亀井　一寿(大分)	井料たか子(鹿児島)
奥山　誠恒(鹿児島)	儀間　稔(沖縄)	上江洲　登(沖縄)

レフェリーに一言アドバイス

1．オフィシャルとの連携
　スコアラー・タイムキーパーはレフェリーのサポートをしてくれる人達であるから、試合前に必ずお願いと打ち合わせをしておくこと。

2．コート・ゴールレフェリー2人の話し合い（任務の分担）特にゴールレフェリーがコート内の反則に対して積極的に吹かない。ボール外での反則は見逃さない。

3．開始して5分くらいでチームの特徴、個人の能力を読み、最大限に発揮させてやる事と、判定に関しては毅然とした態度を示す。

4．ジェスチャー
①方向指示と反則したプレイヤーの目を見よ。それから必要であればジェスチャーをして、本人・観衆・ベンチ等を含めて知らせること。
②但し、ボール保持者の反則は、反対チームになるので（オーバーステップ・チャージング・ラインクロス等）大きく吹き、ジェスチャーをしてゴールレフェリーや全員に示す。ゴールレフェリーはコートレフェリーに変わるから方向指示とポイントを示す。

5．アドバンテージ
　発展性のあるプレーのみに与えること（見すぎると罰則までに発展するので、見極めをしっかり。二重アドバンテージにならないように）。押されてオーバーステップ・ラインクロス等（押されたけれどプレーができたのに）。

6．段階的適用
　8条1～3までは許される。（ハードプレー）
　8条4～15まで許されない。よく研究して欲しい（ラフプレー）

7．7mスロー
　明らかな得点チャンス（前提条件である）
　・反則があっても十分プレーができたらセーフ
　・得点しても（警告・退場の罰則有る場合あり）
　・7mスロー（警告・退場の罰則有る場合あり）
　最近、特に押し込み（チャージング）ラインクロスをライン内防御として7mスローにするケースが多い。

8．レフェリーの位置どり
　レフェリーは反則及び罰則の選択をするのであるから、そのプレーを予測、見極めをしっかりと一番近い位置どりをして、ゲームの運営をすること。位置取り（動きと走力）終始、ボールから目を離さない（クロスステップ。必要に応じてバックステップをする）。不必要なバックステップは滑稽にさえ見える。

9．終了時、記録用紙に（キャプテン・オフィシャル）サインの確認をして両審判員が最後にサイン。

10．オフィシャルに対しての礼儀
※どんな試合でも、試合前、ハーフタイム、終了時には必ず2人で話し合いや反省をし、審判長、第三者の指導助言を受けることが上達の秘訣です。

第3回JOCジュニアオリンピックカップ

開催時期等の変更について

普及委員長
小西　博喜

本大会は平成4年に(財)日本オリンピック委員会（JOC）から選手強化事業ジュニア対策の一環として、将来のオリンピック大会や世界選手権等において活躍する有望選手の逸材を発掘・育成しようという試みでスタートした。

そのことは将来の日本を代表する選手を育成する大会であり、教育行政を始めとして選手自身、指導者、家族の皆さんにも十分なご協力とご理解を頂かなければならない。

本年度の第3回大会は、12月25、26日の冬休みに入った時期に開催することが決定した。中学生の段階では潜在的な素材を持った有望視される選手たちは、必ずしも強いチームばかりではなく、弱いチームにも埋れている場合がある。即ち、「勝つ」ことのみを目指す「チャンピオン大会」に走るのではなく、広く全国から集めて開くオールスター的なステージの場であることが大事な要素である。このような視点に立って開催時期の変更を決定した。

一、夏の全中大会とは異なる社会体育的な視野の広さと、大局的に見た国際交流の活性化を、皆さんにお願いしなければならない。したがって、社会教育的課題を義務教育的現場の中で考えていくことが必要であり、将来、さわやか杯と同様、全国都道府県参加が実現するための財源確保は、ジュニア育成発展への裏付けとなる重要施策である。

二、また、3月は全国高校選抜大会と重なるために、この時期をさけ、高校指導者関係の関心が集まる情報交換の話題を提供したい。そのため関係者には是非足を運んで頂きたいと願っている。

三、参加対象となる中学生は1〜3年生全体に門戸を開放し、人材発掘の範囲を大きく広げたい（しかし、3年生の出場は進学指導の関係もあり、義務づけていない）。

四、3月は春の高校野球にすべて新聞、テレビは独占され、ハンドボールの全国決勝記録でさえも記事に出ないことは、普及活動の大きなマイナスであり、PR面の障害となっていることを検討した。

五、朝日放送後援のテレビ放映を主管協会と協力して実現する方向に持っていきたい。この時期にバレーボールのJOCカップは大阪難波で開催し、読売テレビ・日本テレビ全国31局ネットで放映しているが、茶の間のメジャー化にテレビ報道は欠かせない教育的な情報機関である。また、国内普及事業の活性化をはかるに当たって、ナショナルチームのランキングが報道機関に対して大きく影響していることも事実である。

六、本年度から選手の人材発掘を兼ねて男子180cm、女子170cm以上を各1名以上メンバーに加えることは、将来に備えてオリンピック選手の育成強化に照準を合わせることになる。

■要項の主なポイント

主催　(財)日本ハンドボール協会
主管　大阪ハンドボール協会
後援　朝日新聞社・朝日放送(株)
協賛　ミズノ(株)
会期　平成6年12月25日(日)、26日(月)
会場　堺市立大浜体育館
　　　堺市金岡公園体育館
参加資格
・各都道府県の選抜されたチームであり、全国9ブロックから推薦された各男女1チームと開催府県各1チーム
・参加対象は1、2、3年生とする。
・男子は身長180cm以上を1名以上、女子は身長170cm以上を1名以上含むことが望ましい。

本年度中学生専門委員会議題の主な予定は、第4回大会のブロック別参加チーム数増については、ブロック別日本協会登録チーム数を基本に男女各12チームとし、4ブロック予選リーグ、決勝リーグ形式を検討する。さらに次々年度には男女各16チームの参加も協議する。

連載10

ハンドボールの指導法

指導委員会委員長　大西　武三

オリンピックソリダリティから

IHF/デンマークからルンド氏を招き、講習会を行った。学ぶべきものが多くあったが、中でも強く感じたことは「ハンドボールはどうあるべきか」そのことを自分自身の中で確立していかなければならないということであった。ルンド氏はこれを「ハンドボールのフィロソフィー」の言葉で表現し、自分自身のあるいはデンマークのハンドボールを理論的に述べた。そしてそのハンドボール・フィロソフィーに基づいて実際にトレーニングをしてみせた。この講習会で、参加者の方々が最も関心を寄せたのは、このルンド氏の「フィロソフィー」と「トレーニングとはフィロソフィーから導きだされるもの」と言うことではないでしょうか。

技術の到達段階：金銀銅

この講習会で非常に感心したものの一つに、技術の到達段階を金銀銅という形で示したものがある。

ハンドボールの戦術につながる基礎的な技術（テクニック）の項目を挙げ、それをプレイヤーが独習しパスすれば指導者にチェックしてもらい、一つの段階の項目に全てパスすれば、次の段階に進んでいくものである。最も初歩的なものが銅であり、銀→金になるにしたがって難しくなっていく。

金銀銅とも項目は次の7項目よりなっており、各項目は2、3種類のテクニックで成り立っている。

動作の習得が基本となっているが、中には体力的要素や調整力の強化を主としているものもある。

1　パス
2　ディフェンスの動き
3　フェイント
4　シュートバリエーション
5　倒れ方、転がり方
6　ボールハンドリング
7　ジャンプ

ゲームはこれらの技術（テクニック）を試合場面に応じて使いこなしていくことである（戦術的側面）。

金・銀・銅のテクニックについて説明するルンド氏

技術（テクニック）は試合場面を切り開いていく道具であり、戦術は道具を如何に状況に応じて使いこなしていくかという判断的な側面である。この両者が相まって競技力の成果を発揮することが出来る。このゲームをする際の道具となる個人のテクニックを各個人が責任をもってやるように進めているわけである。

ハンドボールの練習を毎日行っていても、自分のテクニックが正しいかどうかのチェックは受けずにいることが多いのではないでしょうか。また、個人が習得していかなければならないテクニックが示されていないために目標を持たず、漫然と同じテクニックのトレーニングを繰り返していることはないでしょうか。最近、個性的な選手が少ないと言われるが、いろんなテクニックを学習する中で個性が出てくるものと思われる。

このように到達していくべきテクニックが項目として明確に示され、到達すれば次の段階へと進めるステップアップ方式は、プレイヤーにとって非常に大きなモチベーションになるであろう。指導体制の一貫化のうえからも日本協会レベルで是非取り組まなければならない課題である。皆様の方でも、対象に応じた金銀銅テクニックを設定し、試行していただきたいと思います。

戦術のトレーニング

デンマークでは、戦術のトレーニングに多くの時間が割かれるそうである。テクニックは主に個人の問題であるという考えである。

「金銀銅」で述べたように、テクニックを各個人が練習前に来て独習するというシステムを推し進めているがゆえに、このようなことが言えるのであろう。ナショナルチームでは、テクニックの練習は禁止されていて、全ての時間は戦術のトレーニングに割かねばならないそうである。

日本の技術戦術的な側面を評してよく言われるものに、「基礎技術がない」「独創性がない」がある。何故このようなことが言われるのか考えてみたいが、前者は試合に勝ちたいがため、テクニックの練習より試合の仕方、コンビネーションにといった戦術的側面に時間を割き、テクニックのレベルは低くても試合の仕方にポイントを置き、小さくまとめて勝つという指導方法の結果として生れたものである。自分に任された数年間で大きな試合に勝とうと思えば、技術と戦術を両天秤にかけ、戦術に練習の比重をかける指導方法である。これも一つの方法であるが、大きく選手を育てるためには、問題があることも確かである。指導者に対する評価が、将来選手がどのように育っていくかより、現在如何に勝つかに向けられている状況では、指導者を責めることが出来ない。

後者は、試合の場面において対応方法はいくつもの選択肢が考えられるが、テクニックがないために選択肢が限られるのか、指導者の考えが堅いために、ある選択肢しか許されないと言ったことがある。チームの戦術に則りながらもプレイヤーが限りない選択肢の中から選ぶ可能性を持つことが独創性につながるものと思われる。そのためには、プレイヤーが十分なテクニックを持つことと、プレイヤー、指導者の柔軟な戦術に対する考えが求められる。

前置きが長くなったが、アラン・ルンド氏が行った戦術の指導法の概要について述べたい。ハンドボ

ールのフィロソフィーから導かれてゲームにおける6局面の指導が行われたが、概要をわかりやすくするために第4局面セットオフェンスでの指導法を述べたい。

戦術のトレーニングをするルンド氏

第1段階（机上プラン）
あるディフェンス戦術に対して、基本的なフォーメーションをつくる。

第2段階（動きの理論と実際）
指導者は、その動きを実際にプレイヤーにやらせるが、なぜそのように動くか、動きの中で区切りながら説明し、指導者の考えを良く理解させる。ディフェンスは相手の動きに合わせて消極的に守る。

第3段階（動きのスピード化）
実際の動きのスピードで合わせる。

第4段階（動きのバリエーション）
攻撃の導入部は同じであるが、ディフェンスの予測を外すために、動きやパスのコースを変えて、一つの動きからバリエーションを作っていく。

第5段階（テクニックのバリエーション）
同じ動きの中で、個人の技術のバリエーションを加えていく。ポストにパスするにも色々な方法があるが、ディフェンスの状況によってテクニックを変化させる。

第6段階（戦術の実際）
防御側にしっかりと守らせて攻防する。この段階では、チームとしての動きの中で、シュートを常に狙いながらプレイを行い、シュートのチャンスには思い切ってシュートすることが重要である。

第7段階（フリーオフェンス化）
一つのフォーメーションを状況に応じてバリエーションを作っていき、フリーオフェンス化していく。そして同様に、いくつかのフォーメーションをフリーオフェンス化し、相手チームの状況に応じて、どこからでも攻められるチームの攻撃法としていく。

以上であるが、一つの基本的な道筋からいくつもの脇道が派生し、フリーオフェンス化していくことを十分に理解させ行わせることが重要である。

「日本ハンドボール協会編：ハンドボール指導法教本」に各種の攻撃展開例が載っていますので参考にして下さい。

図1

フリーオフェンス化
第7段階
戦術の実際
第6段階
テクニックのバリエーション
第5段階
動きのバリエーション
第4段階
動きのスピード化
第3段階
動きの理論と実際
第2段階
机上プラン
第1段階

プレイアブル（playable）

ルンドは戦術用語として「プレイアブル」と言う言葉を使った。ルンドはこの「プレイが出来る」という状況を作り出すことが、ボールゲームの最も重要なことであると説く。以下、講習会より。

ハンドボールは60分である。両チームがボールを持つ時間は、その半分の30分である。1チームはGKを含めて8～10人くらいの選手がいる。一人がボールを持つ時間は3分になる。外に出ていたり、空中にあったりするので、最高2分くらいである。残りの58分はボールを持っていないことになる。このことを考えたことがありますか。考えたことがないとすれば、皆さんは2分間のことに集中していることになる。58分のその半分の29分がディフェンスに費やされている。ボールを持っていない29分の攻撃のことを考えて欲しい。ボールを持っていないときの攻撃の仕方を教えていますか。ハンドボールの攻撃は、自分がボールを持っているときだけでなく、持っていないときも攻撃と言える。ボ

ールを持っているときはシュートやパスをする。それは技術的側面である。

持っていない29分は、技術を使うための動きであり、戦術的局面と言える。

ボールを持たないプレイヤーの動きについて、10年前までデンマークで論議されていない。ハンドボールやバスケット、サッカーの専門家が集まり、バレーボールの専門家も来てもらったが、バレーボールは球技でもハンドボールと違うので除外した。全てのエクスパートはハンドボールをする意義は何かを論議した。結果として、一つの共通する言葉が生れた。それは「プレイアブル」である。これはボールゲームで最も重要なものである。

プレイアブル(プレイが出来る)

1 to be playable
(プレイアブルであること)

2 to become playable
(プレイアブルになること)

3 to make playable
(プレイアブルにさせること)

これが戦術的なハンドボールをするということである。

選手がこれを分かれば、なにも心配することはない。この3つがハンドボールである。

日本では、この「プレイアブル」の言葉は使用されず、プレイアブルになるための用語として「マークを外す」「ノーマークを作る」があり、表と裏の関係に当たる。

図2
プレイアブルである
to be playable

図3
プレイアブルになる
to become playable

図4
プレイアブルにさせる
to make playable

戦術的ゲームをする男子ナショナル選手

戦術的ゲーム

プレイアブルはボールゲームにおいて最も大事な要素であるが、このプレイアブルをゲーム的に行い習得させせようとするものが、この戦術ゲームである。

戦術ゲームの代表は、パスゲームのように敵味方が混成する状況でパスゲームを行う。得点は相手のコーンにボールを当てたり、パスカットされないで、ある回数のパスを続けるなどである。またそのパスをバウンドさせたり、バックパスでさせたりする。プレイアブルに技術的要素を加えながら、ゲーム的にモチベーション的に行うものである。

図5 ヒットボール

10m

ルール：1 約10mの制限区域内でパスゲームを行う。
2 味方同士で5回連続してパスを回し、相手の脚にボールを当てたら1点

ルンドは練習の最初に、いつもこの戦術的ゲームを取り入れた。最初に取り入れる意味は、幾つかある。

1 ウォーミングアップとして
2 プレイアブルの習得のために
3 ハンドボールの導入ゲームとして
4 モチベーション・エクササイズとして

ハンドボールにはいろんな要素が組み合わさってゲームを構成しているが、これらの要素を簡易ゲームの中で行い、楽しみながら、自然に習得させるのは良い方法である。

ソリダリティの講習会の内容は、別の機会に詳細に報告するつもりである。

ハンドボール競技への動作分析の応用

スポーツ医科学委員
光島　良正・大島　一郎・西山逸成

韓国男子・女子は強い！ ヨーロッパ水準は非常に高い！

実際に試合を観る機会があれば、全日本男子・女子チームに対してそのスピード感、迫力のレベルは一目瞭然だろう。見た眼というのはなかなか確かではあるが、その印象を具体的に伝えるのは難しい。スピードは速い、遅いは眼で見てわかるが、更に実際に数字ではどれ位なのか？ 他人と比較するときの具体的な数字は言えるのか？ 力（これは眼には見えないもので、投げるフォーム等の印象、ボールスピードなどからは伺い知れるが）はどう表現するのか？

ハンドボールは（サッカーもそうであるが）ゴールを決めれば得点なので、猛烈なシュートのみならずフェイントもあれば芸術的な？シュートもある。しかし体力的な要素はやはり最重要課題である。それなくしてはフェイント等のテクニックは活きないからだ。

5月に世界選手権東アジア予選が広島で行われた。ここで我々はシュート動作の分析の為のビデオ撮影を行った。シュート動作といっても広いコートの中で人間は速いスピードで移動するので、カメラ3台をフリースロー・ライン近辺に死角が出来ないようセットした（図1）。最低2方向からカメラ（家庭用のホームビデオカメラで可能）で分析可能である。ただ映すのみではビデオを眺めているに過ぎない。ここで分析する対象がどのように距離を動いているのかを知る正確なメジャーが必要になる。今回はスティール製の一辺2mの立方体の組み立て式架台を使用しているが、これを同じフレーミング、ズーミングで映さなければならない（この作業が何やら科学的な印象を持たれるようであるが、実際の手順は非常に簡単である。ただコートに置くだけでよい）。そして撮影されたビデオテープをAPAS（Ariel Performance Anlysis System＝図2）を使用して分析した。図のAは韓国のエース、コン・ファンシン、Bは日本の末岡政広選手のゴール正面からのロングシュートを比較したものである。

ここではボールのスピード（図7）、そのシューターはどれだけジャンプしているのか？（図3）、リリースポイントの高さは？（図4）、手首・肘・肩がどのように加速して投げているのか？（図6）（ハンドボール競技のような空中での投動作は他の競技とは異なった特性があるが、野球のピッチャーの投球フォームでは肩が最高の加速を示した時に肘を加速し始め、肘が最高の加速を示した時に手首が加速するといった鞭のようにしなる様な投げ方が良いとされている）。実際には眼には見えない部分であるが、この投げ方では肘、肩にはどれだけの負担がかかっているのか？を調べた。

ここで韓国選手と日本選手の違いは図3で日本選手の方がジャンプの高さは高いが、図4では韓国選手の高身長、長い腕の為リリースポイントは高くなっている。図5では肩、腰のひねりが韓国選手はリリース直前に腰→肩の順に速いスピードで回転しているが、日本選手はリリース前から身体がほとんどひねられてしまっているので残った腕だけで投げているような状態になっている。図6では図5の腰・肩の回転に続いて手肘・手首の順に鞭のようにしなる投げ方になっているが、日本選手は腕が一本の棒のように投げている。図7ではその結果とも取れるボールスピードの差が出ている。図8はシュート動作時の各関節へかかる負担であるが、速いボールを投げるほど負担は大きくなるため、韓国選手はおそらく障害予防の筋力強化を行っているものと思われる（Newtonを9.8で割ればkgになる）。

今回はシュート動作の分析であったが、フォーメーションの分析も可能であり、その応用範囲は広いものであり、今後の競技力向上に一役買うことが期待される分野であろう。

末筆ながら本測定に御協力頂いた広島県ハンドボール協会に感謝致します。

（監修：西山逸成）

三次元動作分析装置 APAS(エリエール・パフォーマンス・アナリシス・システム)

図1

図2

KOREA　　スティックピクチャー　　JAPAN

KOREA　　JAPAN

△＝重心高の変化

54.21

図3A

図3B

KOREA　　JAPAN

△＝手首の高さの変化

図4A

図4B

KOREA 真上からみた肩、腰のひねりの速度 JAPAN

図5A

図5B

KOREA

図6A

JAPAN

図6B

KOREA

図7A

JAPAN

図7B

KOREA 各関節への負担 JAPAN

図8A

図8B

国際情報

IHF広報177号より

●2000年シドニーオリンピックから女子出場チーム数は12チーム

IHFは2000年から有効となるのであるが、女子チームが12になるのに十分なチャンスがある。4月の終わり、ローザンヌにあるIOC本部で召集されたIHF理事会でIOC会長サマランチがこのグッドニュースを述べた。

●1995年世界選手権大会は、5月8日から21日までアイスランドで開催される。抽選はレイキャビックで、1994年6月23日（ワールドハンドボールディ）に行われた。

●女子の世界選手権大会は、ハンガリーとオーストリア2カ国で開催される。期日は1995年12月5日から17日。

●ジュニア世界選手権大会

理事会は男子の世界ジュニアはアルゼンチンで、女子はブラジルで開催することに好感を示している。1995年9月1日から20日の間で開催予定。

●1995年コーチレフェリーシンポジウム

詳細は未定であるが、次のシンポジウムはエジプトで開催される。

●1997年世界選手権大会（男女、ジュニア男女）は、この9月に開催されるオランダでのIHF総会で決定される。男子の世界選手権大会は、日本とエジプトが組織案を提出している。

●IHF総会

第25回通常総会は、オランダのアムステルダムの近くのノードベイクで9月7日から開催される。会議の主な内容は、新しいIHFの内規の適用と第一副会長であったセネガルのババカ・フォール氏（死去）と、辞任した組織競技委員長（COC）のオットー・シュワルツ氏（スイス）の補充の選挙である。第26回総会はアトランタ近くのヒルトンヘッド・アイスランドにて1996年オリンピックの直前に開催される。

●IHF内規の草案

IHF理事会は1994年のIHF総会で賛意を得て改訂された内規を提出している。その新しい内規は、最近の国際的な発展に見合った内容になっている。将来は5つの大陸連盟になるだろうという予測も計算している。内規は大陸連盟内でハンドボール競技会をするのに十分な権威を持っている。

●新しいメンバー：イエーメン

理事会は臨時的にイエーメンをIHFの133番目のメンバーとして受け入れた。イエーメンと他の連盟との完全なメンバーシップはIHF総会で承認される。

●ワールドハンドボールディ

ワールドハンドボールディはIOCの100周年と同じ日の6月23日であった。IHFは全てのメンバーと大陸にこのイベントに参加し、適当な活動を行うよう呼びかけた。これに対する反応は大変良く、世界中でハンドボールのデモンストレーションが行われた。オーストリア、バングラティシュ、中国（日本は男女の広島選抜チームが参加）など16カ国の活動がIHFに報告されている。

●資格の停止

イラク、スーダン、前ユーゴスラビアはまだ資格停止のままである。資格停止命令は競技会の役員、レフェリー、立ち合い人（オブザーバー）を含んでいる。

●エジプトにおける世界選抜

エジプトのオリンピック委員会の招待で、男子の世界選抜チームがこの夏、カイロでエジプトナショナルチームと対戦することになった。これは近代オリンピック100周年を記念して行われるものである。

●AIPS（国際スポーツ記者連盟）特別委員会の会長

AIPSとIHFは3年間眠っていた特別ハンドボール委員会を復活することに力を入れることになった。この委員会はノルウェーでの女子の世界選手権大会で選ばれた各国の代表で8人のメディア代表者からなっている。3月のバーゼルのミーティングから仕事を始めている。このミーティングにはIHFの会長エドウィン・ランク氏や理事長のレイモント・ハーン氏もAIPSの副会長カース・ステンフェルド氏と同様に出席していた。特別委員会の仕事はIHFイベントのメディアに対するガイドラインの改訂であり、IHFイベントでの信任の要求を扱うこと、またIHF出版物の手助けである。IHFのメンバーに紹介する機会はノルドウィックの総会の間に提供する。

ＡＩＰＳの役職はバーゼルでのミーティングで任命された。会長はオーストリアのギュンター・フェイストリンガー、副会長はフランスのアライン・ボイヤー、事務局長にはドイツのヨッヘン・ラインハルトが選ばれた。

●ドーピングの規則

ＩＯＣ規則に完全に一致する新しいＩＨＦドーピングの規則が理事会で採用された。罪の場合、最低２年間の出場停止という規則が折り込まれている。

●ハンドボールの新しいかたち

ＩＨＦのワーキンググループは、ハンドボールをプレイするための新しい形を扱い始めている。「ＯＰＥＮ　ＡＩＲ　ＨＡＮＤＢＡＬＬ（屋外でのハンドボール）」の題目のもと、ハンドボールをプレイする新しい方法や可能性を見つける努力を始めている。ターゲットグループはクラブや他の連盟に加入していない人々である。最初のプレゼンテーションはノルドウィックでのＩＨＦ総会の間に計画されている。

デートリッヒ・スペート

●１９９４オリンピックソリダリティ

オリンピックソリダリティの財政的な援助に感謝しなければならない。ＩＨＦのＣＣＭメンバーが通常、これらのコースを指導します。１９９４年には17のコースがアメリカ、アフリカ、アジアで計画される。これらのコースにはオリンピックソリダリティは16万ＵＳ＄の財政援助をしている。

●ルールの改正

ご存知のようにワーキンググループは、少し前に、ハンドボールをより魅力的にするためにルールを改正するようにＩＨＦから依託されていた。このグループは（デートリッヒ・スペート：ＩＨＦ／ＣＣＭ：ドイツ）、ジュアン・デ・ディオス・ロマン・セコ：ＩＨＦ／ＣＣＭ：スペイン）、エリック・エリアス（ＩＨＦ／ＰＲＣ：スウェーデン）、ウイリー・ハッケル（ＩＨＦ／ＰＲＣ：ドイツ）はさしあたり予備的な仕事を終了し、可能性のある５項目の提案を行った。トライアルが興味を示すメンバー国によって来るシーズンになされる。

ジュアン・デ・ディオス・ロマン・セコ

提案１　得点と７ｍの後の義務的なタイムアウト（ルール２：４）

提案２　それぞれのチームにハーフ毎に１分間のタイムアウトが許される（２：４）

提案３　自チームのコートにボールを戻すことは許されない（７：12、前の７：12は７：12になる）

提案４　相手側が選択している位置でのゴールの後のスローオフ（10：４）（スローオフは相手の位置に関係なく行うことが出来る）

提案５　プレイングミートのいかなる位置においても攻撃側が選択している位置を取っているプレイヤーでのフリースロー（13：４）（フリースローの時、攻撃側はフリースローラインの中にも入ることが出来る）

エリック・エリアス

トライアルに進んで参加する連盟は、来たるべきシーズンに個々の提案についてテストをするだろう。その結果をワーキンググループは評価のために利用するであろう。ＩＨＦの変更は１９９７年からのみ有効となります。

注）　提案の２、３、５は日本ではバルセロナルールとして昭和60年、61年と実施している。

●ＩＨＦ認定パートナーとスポンサー

１９９３／５号でＩＨＦが製品にＩＨＦロゴや品質シールを使用する権利をあたえた会社の名前を知らせた。次の様にいくらかの契約の変更がある。製品や器具にＩＨＦの紋章を使用することを認可した最新のリストは次の通りである。

◇全般のスポンサー
adidas　ドイツ

◇ボール
Derbystar　ドイツ
Rima AG　チェコ
Jacotra-RZUCANOR Central　スイス
Cambuci S/A　ブラジル
ミカサ　日本
Select Sport　デンマーク
モルテン　日本
Synsheen & Co.　大韓民国

◇courtflooring
BAT Taraflex　フランス
Scores　フランス

◇HANDBALL goals
小川長春館　日本

フリースロー

『ドーピング』

広報委員　早川　文司

世界サッカー界のスーパースター、アルゼンチンの星・マラドーナがドーピングでクロ判定、ワールドカップ大会から「追放」された。興奮剤のエフェドリン、ノルエフェドリンなど5種類の禁止薬物を使っていたという。王様ペレに次ぐ英雄という称号を受け、日本でも少年に大きな夢を与えていただけに、今回の不祥事は残念としか言いようがない。

薬物違反で思い起こすのは、１９８８年ソウル五輪陸上男子１００ｍで優勝したベン・ジョンソン（カナダ）だ。筋肉増強剤使用で金メダルをはく奪され、昨年は再犯が発覚して永久処分となった。今回の事件は、それ以来の大スキャンダルといえる。

マラドーナについては、１９７９年世界ユース日本大会や１９８２年のワールドカップ・スペイン大会で、生のスーパープレーを見て感嘆の声を上げた思い出がある。コカイン使用の前歴はあるが、まさか再び薬の助けを借りていたとは。度重なる不祥事に、怒りさえ覚える。

ここで思うのは、代表選手はプレーだけでなくすべての面で細心の注意を心掛けることだ。ロス五輪だったか、日本のバレーボールの選手が風邪薬を服用して問題になったことがある。エフェドリンはほとんどの市販の風邪薬に含まれているとか。スポーツ界では不注意で使って出場停止を受ける選手があとを絶たない。個々の問題だけでなく、チーム全体に迷惑をかけることになる。「しまった」ではもう遅い。くれぐれもご注意を。

マラドーナは、国際サッカー連盟の正式処分を待たずに引退を表明。もう〝5人抜き〟のワンダフル・ドリブル突破は見られないが、こんな形で姿を消すのは、夢を与えた多くのファンへの裏切り行為でもある。あまりにも情けないと言わざるを得ない。薬に頼ってまでしがみつこうとした栄光の座は、架空でしかあるまい。いくら名ドラマでも見たくもない。

各地の大会結果

関東

埼玉県総合体育大会

（6月10～19日／三郷市他）

◎男子

▼1回戦

越谷南 25－18 筑波大坂戸
草加東 43－6 北本
浦和西 48－2 和光
春日部 24－11 上尾東
春日部東 31－13 科学技術
幸手 16－9 久喜工
浦和市立 28－8 浦和工
川口青陵 36－5 狭山
大井 25－22 桶川
城西川越 11－8 鴻巣
春日部工 27－20 三郷工技
城北埼玉 24－14 上尾沼南
志木 13－11 春日部共栄
県立坂戸 18－13 花咲徳栄
農大三 29－15 久喜北陽
川口東 35－5 所沢緑ケ丘
吹上 21－16 埼玉第一
庄和 38－11 秩父農工
川口工 24－19 草加
伊奈学園 26－9 八潮南
小松原 25－14 八潮
西武台 32－9 所沢北
埼玉栄 29－4 上尾南
大宮南 27－15 朝霞
宮代 21－16 秩父
浦和南 30－7 三郷北
川口北 28－10 大宮
越谷西 22－19 岩槻北陵
羽生第一 31－9 朝霞西
大宮北 17－13 岩槻
浦和実業 36－9 川越南

▼2回戦

浦和学院 26－7 越谷南
浦和西 19－15 草加東
春日部 22－12 春日部東
浦和市立 37－4 幸手
川口青陵 30－19 大井
春日部工 29－18 城西川越
城北埼玉 22－17 志木
農大三高 40－18 県立坂戸
川口東 33－10 吹上
川口工業 21－21 庄和
3PTC2
小松原 18－14 伊奈学園
埼玉栄 20－6 西武台
大宮南 44－12 宮代
川口北 21－19 浦和南
越谷西 23－11 羽生第一
浦和実業 36－10 大宮北

▼3回戦

浦和学院 22－10 浦和西
浦和市立 20－19 春日部
川口青陵 26－20 春日部工
農大三高 37－19 城北埼玉
川口東 24－10 川口工
埼玉栄 14－13 伊奈学園
大宮南 22－14 川口北
浦和実業 30－9 越谷西

▼4回戦

浦和学院 27－9 浦和市立
農大三高 37－14 川口青陵
川口東 21－13 埼玉栄
大宮南 18－17 浦和実業

▼決勝リーグ

浦和学院 32－16 農大三高
浦和学院 23－13 大宮南
浦和学院 23－17 川口東
農大三高 22－15 川口東
農大三高 21－15 大宮南
川口東 23－16 大宮南

（順位）①浦和学院②農大三高③川口東④大宮南

◎女子

▼1回戦

越谷南 21－18 大井
草加東 23－13 吹上
春日部女子 20－11 不動岡誠和
所沢北 42－0 和光
大宮南 26－7 深谷第一
小松原女子 37－0 春日部共栄
大宮北 15－13 行田女
農大三 13－12 本庄一
上尾南 56－2 幸手
庄和 34－14 三郷北
春日部東 14－11 浦和商業
浦和市立 26－13 筑波大坂戸
大宮開成 47－2 山村国際
草加南 35－12 八潮南
川口女 17－9 宮代

▼2回戦

浦和実業 3[illegible]－1 狭山
浦和学院 23－12 越谷南
草加 22－15 草加東
熊谷女 19－7 春日部女子
浦和南 25－14 所沢北
羽生第一 18－12 大宮南
小松原女子 20－18 朝霞
西武台 42－2 大宮北
埼玉栄 44－4 農大三
川口北 21－6 上尾南
春日部工業 22－17 庄和
八潮 29－9 春日部東
浦和西 23－12 浦和市立
大宮開成 33－10 秋草学園
川口青陵 35－9 草加南
伊奈学園 33－6 川口女

▼3回戦

浦和実業 33－1 浦和学院
熊谷女 28－16 草加
浦和南 28－10 羽生第一
西武台 24－11 小松原女子
埼玉栄 28－15 川口北
八潮 33－6 春日部工業
浦和西 31－19 大宮開成
伊奈学園 27－16 川口青陵

▼4回戦

浦和実業 22－12 熊谷女
西武台 22－17 浦和南
埼玉栄 20－18 八潮
伊奈学園 16－10 浦和西

▼決勝リーグ

埼玉栄 22－16 伊奈学園
埼玉栄 18－18 西武台
埼玉栄 21－21 浦和実業
浦和実業 17－15 西武台
浦和実業 18－18 伊奈学園
西武台 16－16 伊奈学園

（順位）①埼玉栄②浦和実業③西武台④伊奈学園

千葉県実業団春季リーグ戦

（4月17～24日／三井石化体育館）

（順位）①コスモ石油②海上自衛隊下総③出光千葉④三井石化⑤日産化学⑥海上自衛隊館山⑦東京ガス

東海

東海地区国立高専大会

（7月16～17日／鈴鹿市）

◎リーグ戦

豊田工業高専 15－8 鈴鹿工業高専
沼津工業高専 26－13 鳥羽商船高専
岐阜工業高専 14－13 鈴鹿工業高専
豊田工業高専 22－11 沼津工業高専
岐阜工業高専 34－18 鳥羽商船高専
鈴鹿工業高専 24－10 沼津工業高専
豊田工業高専 34－8 鳥羽商船高専
岐阜工業高専 22－3 沼津工業高専
鈴鹿工業高専 24－15 鳥羽商船高専
豊田工業高専 31－9 岐阜工業高専

（順位）①豊田工業高専②岐阜工業高専③鈴鹿工業高専④沼津工業高専⑤鳥羽工業高専

近畿

高校総体大阪府予選

（5月8日～6月26日／大阪市）

◎男子

▼予選トーナメント

▽Aグループ

西寝屋川 20－14 大阪学院
此花学院 43－10 東住吉
初芝 22－11 西寝屋川
此花学院 18－14 初芝

▽Bグループ

大商大堺 39－8 阪南
大商大堺 28－21 大商学園
北陽 36－6 島上大冠
北陽 30－14 大商大堺

▽Cグループ

桜宮 18－13 芥川
桃山学院 35－11 堺東
桜宮 20－16 上宮
桃山学院 22－13 桜宮

▽Dグループ

三国丘 26－12 清風
三国丘 17－11 春日丘
都島工業 21－6 刀根山
都島工業 27－5 三国丘

▼決勝リーグ

此花学園 21－21 北陽
桃山学院 17－14 此花学園
都島工業 15－12 此花学園
桃山学院 22－10 北陽
都島工業 20－13 北陽
桃山学院 16－11 都島工業

※桃山学院は3年連続10回目の優勝でインターハイ出場。5位決定リーグは桜宮が勝ち、上位5校は近畿大会出場権を獲得。

◎女子

▼予選トーナメント

▽aグループ

天王寺 13－5 岸和田
宣真 32－5 桜塚
春日丘 26－10 天王寺
宣真 29－16 春日丘

▽bグループ

桜宮 21－5 大東
桜宮 26－8 住吉商業
金蘭会 26－3 高津
桜宮 11－9 金蘭会

▽cグループ

阪南 22－20 摂津
四天王寺 44－4 鳳
福島女子 20－9 阪南
四天王寺 10－8 福島女子

▽dグループ

池田 8－7 東百舌鳥
城南学園 13－8 池田
大谷 33－8 西寝屋川
大谷 32－7 城南学園

▼決勝リーグ

宣真 13－10 桜宮
四天王寺 16－12 宣真
大谷 18－17 宣真
四天王寺 20－12 桜宮
大谷 18－15 桜宮
四天王寺 17－13 大谷

※四天王寺は3年連続7回目の優勝インターハイ出場。5位決定リーグは福島女子が勝ち、上位5チームが近畿大会出場権を獲得。

中国

中四国学生春季リーグ戦

（5月14～16日／広島県立体育館）

◎男子Ｉ部

広島大学 21－19 広島経済大学
広島大学 16－15 松山大学
広島大学 24－9 広島修道大学
広島大学 24－17 山口大学
広島経済大学 21－12 松山大学
広島経済大学 16－10 広島修道大学
広島経済大学 25－19 山口大学
山口大学 18－15 松山大学
山口大学 27－10 広島修道大学
松山大学 17－17 広島修道大学

◎男子II部順位

①愛媛大学②岡山大学③高知大学④近畿大学⑤鳥取大学

◎男子III部順位

①徳島大学②島根大学③香川大学④川崎医療福祉大学⑤広島工業大学⑥徳島大学⑦四国学院大学・

◎女子Ｉ部

広島大学 23－11 岡山県立大学
広島大学 26－8 岡山大学
広島大学 16－9 愛媛大学
愛媛大学 15－9 岡山県立大学
愛媛大学 21－14 岡山大学
岡山県立大学 17－14 岡山大学

◎女子II部順位

①川崎医療福祉大学②香川大学③四国大学④鳴門教育大学⑤高知大学⑥山陽学園短期大学⑦岡山女子短期大学

中国一般選手権大会

（5月27日～29日／岡山市）

◎男子

▼1回戦

日新呉鉄球会・広 43－6 光南クラブ・岡
松江ク・島 31－29 倉吉ク・鳥
下松ク・山 33－18 岡山大・岡
境港ク・鳥 23－16 広島大・広
江津ク・島 28－20 白桃ク・岡
広島経大・広 32－29 下関ク・山
岡山教員・岡 43－9 丸八ク・鳥
トクヤマ・山 24－19 広島教員・広

▼2回戦

日新呉 61－11 松江ク
下松ク 29－22 境港ク
広経大 34－25 江津ク
岡山教員 30－19 トクヤマ

▼準決勝

日新呉 38－31 下松ク
広経大 27－26 岡山教員

▼決勝

日新呉 31－14 広経大

◎女子

徳山ク・山 20－16 広島ク・広
境港ク・鳥 17－13 岡山大・岡
イズミ・広 27－6 江津ク・島
虹の会・岡 25－12 広島大・広

▼準決勝

徳山クラブ 30－13 境港クラブ
イズミ 24－15 虹の会

▼決勝

イズミ 25－18 徳山クラブ

「幸福」が増えますように。

豊かさがもたらすもの。それはなによりも、ひとりひとりの「幸福」であるべきでしょう。心の幸福感があって初めて、豊かさは意味を持つのです。物質的・量的な価値観から、精神的・質的な価値観へ。私たち伊藤忠は、「豊かさを担う責任」という企業理念のもとにチャレンジを続け、きっとみなさんに本当の豊かさをお届けします。

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二四五号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成六年八月二十六日 印刷
平成六年九月一日 発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
定価三百五拾円
（年間購読料三千三百円）